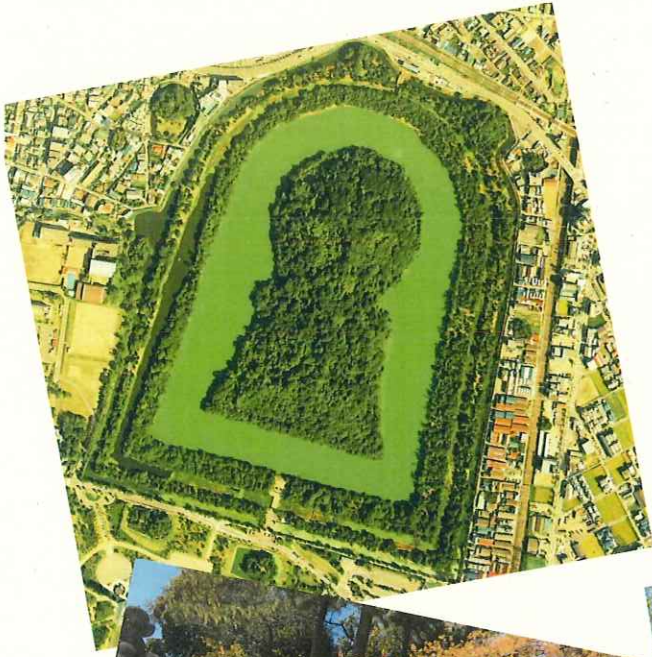


# 古墳の作りとは!?

## 『古墳から分かること』

～古墳のしくみ・形を大搜索!～

「いつ」、「どうして」、「どのように」??



太田市立太田中学校

1年B組

玉井 陽菜子

## 1. このテーマを選んだ理由・きっかけ

- ・古墳の紹介の紙・テレビを見たとき、色々書いてあったが、  
「古墳がどのようにしてつくられたのか?」「古墳がいつ作られたのか?」  
などが詳しく書かれてなく、より詳しく調べてみたいと思った。
- ・また、歴史博物館のチラシを見て  
「古墳時代は、どのような感じだったのか?」  
と古墳時代の様子を知りたいと思った。

## 2. 疑問

- ①古墳は、どんな作りなのか
- ②古墳の仕組みは、どんな感じなのか
- ③古墳は、いつできたのか
- ④古墳は、どうして・どのようにしてできたのか
- ⑤古墳時代は、どのような時代だったのか
- ⑥前方後円墳がなくなった理由とは

## 3. 調査

調べた古墳は、「蛇穴山古墳 (じゃけつざん)」と  
「宝塔山古墳 (ほうとうざん)」である。

まず、①の疑問「古墳がどんな作りなのか」ということを調べた。  
すると、

- 古墳を造るためには、
- ①古墳を作る場所を見つける。
  - ②場所を決めたら、木や草を刈り、地面を平らにする。
  - ③その場所に、設計図を描く。
  - ④外側の部分を掘り、掘った土を墳丘(ふんきゅう)\*1 となる部分  
に盛りあげる。掘った部分は、濠(ほり)\*2 になる。
  - ⑤盛土(もりつち)\*3 をつくる。
  - ⑥葺石(ふきいし)\*4 を葺く(ふく)\*5。
  - ⑦埴輪(はにわ)\*6 を並べる。
  - ⑧埋葬施設(まいそうしせつ)\*7 をつくる。
  - ⑨埋葬して、石室(せきしつ)\*8 を閉じる。

古墳完成!!



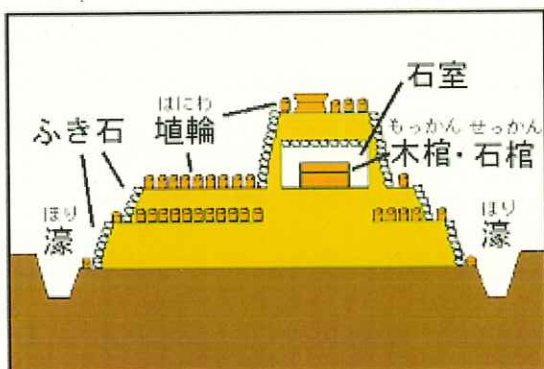
墳丘は何段か積み上げられることが多く、平らにするために水などを使って水平を測っていたのではないかと考えられている。また、土が魚の鱗のように積まれている様子が見つかっており、墳丘を強くするための工夫ではないかとかんがえられている。



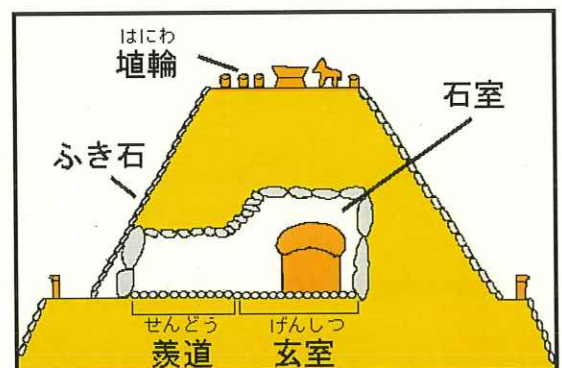
死体や遺骨（いこつ）・遺品（いひん）などを埋めて供養（くよう）する所。木や石などを立て、墓じらしとしたもの。

- \*1 墳丘（ふんきゅう）…土や礫（れき）などを積み上げて築かれた墳墓（ふんぼ）の丘
- \*2 濠（ほり）…敵や動物の侵入を防ぐため古代から近世にわたって、城・寺・豪族の住居集落・古墳などの周囲に掘られた溝のこと
- \*3 盛土（もりつち）…低い地盤や斜面に土砂を盛り上げて平坦な地表を作ること、またはそのような工事を施した（ほどこした）土工そのもの
- \*4 葺石（ふきいし）…墳墓の遺骸（いがい）埋葬施設や墳丘を覆う外部施設の1つで、古墳の墳丘斜面などに河原石や礫石を積んだり、貼り付けるように葺いた（ふいた）もの。「葺き石」（ふきいし）の表記もみられる。
- \*5 葺く（ふく）…①茅（かや）・板・かわら・木の実などで（屋根を）おおう。  
②軒端（のきば）に草木などをさして飾る。
- \*6 埴輪（はにわ）…日本特有の器物。一般的には土師器に分類される素焼き土器である。祭祀（さいし）や魔除けなどのため、古墳の墳丘や造出の上に並べ立てられる。
- \*7 埋葬施設（まいそうしせつ）…死体または遺骨を土中に葬る場所のこと。
- \*8 石室（せきしつ）…古墳のお墳丘の中に造られた石造りの埋葬施設である。

次に、②の疑問「古墳の仕組みは、どんな感じなのか」調べた。調べてみると、



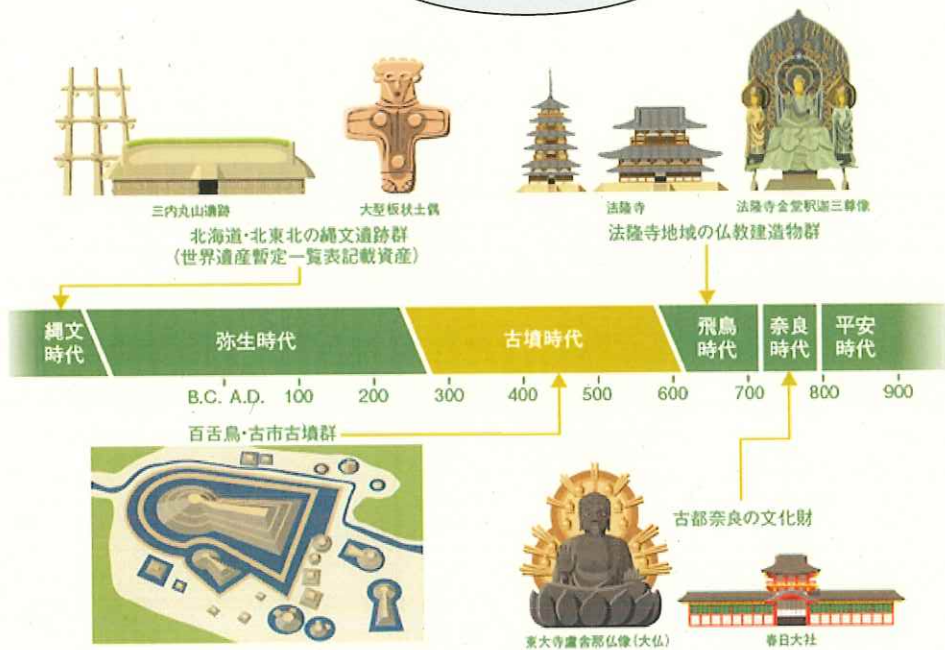
→  
図①の円



↑  
 前方後円墳 (図①) 前方後円墳の場合は上図のようになっている。  
 そして、③の疑問「古墳は、いつできたのか」を調べた。  
 すると、

「日本では、3世紀半から約400年間、続いた」ことがわかった。

結構長い!



次に、④の疑問「古墳は、どうして・どのような理由があっできたのか」を調べた。  
 すると、

「それぞれの地域を支配していた王や豪族が、死んだあとも自分の力を示すために、墓として造られたもの」ということが分かった。

最後に、⑤の疑問「古墳時代は、どのような時代だったか」を調べてみると、  
 「大和朝廷が日本国家の統一をなした時代。多くの大型古墳が造られたことは、鉄器の普及と農耕生産の向上に伴い、社会的身分の差が生じたことを意味するとされる。」

このことから分かるのは、  
 「古墳時代は、古墳をつくることで仲良しアピールをしつつ、大きさを力の差を表していたということ。」



## 古墳

最初は、権力の強い身分の高い人が、大きい前方後円墳を作った。

円墳や方墳などは身分の低い人であった。

しかし、時間とともに逆転し円墳や方墳などが偉くなり、大きいことがすごいのではなくなった。

小さくても立派に作れるということが権力を持った人のお墓となっていた。

石室を立派に！！

(図1)

## 「蛇穴山古墳」 ← 約1300年前、古墳時代の終末期に造られた。

①蛇穴山古墳の構造 ← 構造は、図①

②蛇穴山古墳の石室

まず、①蛇穴山古墳の構造について調べた。

蛇穴山古墳は、墳丘の一边が40mの方墳で、7世紀後半の築造と考えられる。墳丘の周囲は、二重の堀で墳丘を取り囲んでいた。石室は南側に向かって開き、石室前には川原石を敷いた前庭を持っている。

更に調べるため、調べた。

堀は、図②の写真を撮っているところから下に今は、5mくらいある。

本当は、図③のように、8m~10mくらいあった。

そして、実際、測ったら、方墳の角から角までが、40歩だった。

また、古墳の表面は、石があり石は2重になっている。

そのことから、あまり技術がない中でとても大変だと思った。

次に、②蛇穴山古墳の石室について調べた。

石室は、自然石または加工石材を用いて積み上げた墓室。内部に棺や副葬品を納める構築品であるが、小形の例では直接遺骸（いがい）を納めるなどの場合もある。

古墳にあった石（図④）は、利根川から何十トンくらい石を持ってきていた。4km、5kmくらい歩かないと手の入らないのに、すごい労力を使っていた。

大体の石は、漆喰（しっくい）という白い石。

蛇穴山古墳の石室は、小さいけど王様窓の偉い人が眠る所は立派になっている。

石室の壁は、一枚の大きい石で出来ている。

中は、大きい石材を平らにして組み合わせていて、とても繊細に作られていた。

### ・ 感触

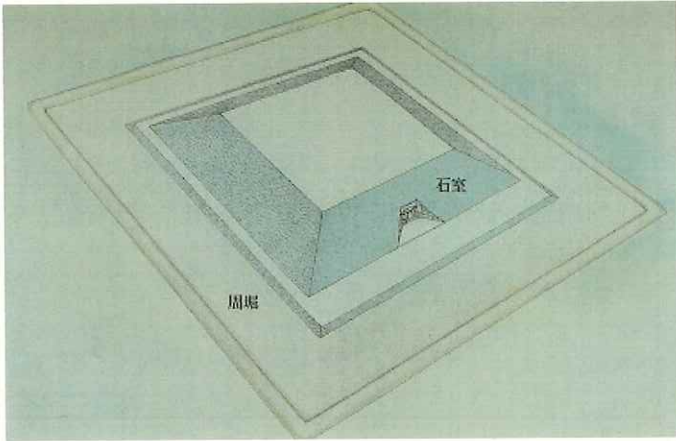
石室の中	つるつる
石室の外	ゴツゴツ (図⑤)

石室の入り口の上の石は、榛名山から持ってきた。(図⑥)

そのことから、王様のことをとても大事に思っていて、大切にしていたと感じた。



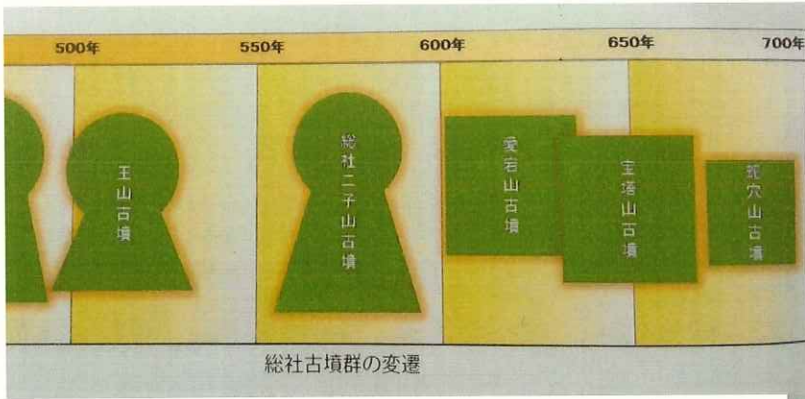
図①



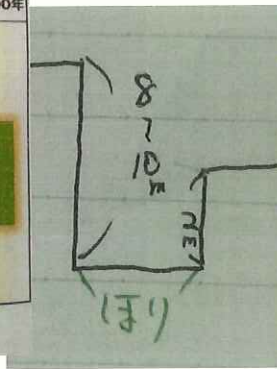
図②



図 1



図③



図④



図⑤



図⑥





## 「宝塔山古墳」 ← 約1300年以上前、7世紀半ばに造られた。

① 宝塔山古墳の構造 ← 構造は、図①

② 宝塔山古墳の石室

まず、① 宝塔山古墳の構造について調べた。

宝塔山古墳は、墳丘全長60mの大型方墳。墳丘は3段築成、斜面には葺石が葺かれ、石室は羨道・前室・玄室からなり、それぞれの入り口には門柱上の施設が設けられている。

更に調べるために、調べてみた。

また、堀は周濠とも言う。

土をかためるといつかは崩れるから、ちょっと積んで叩いて…というやり方にして崩れないようにしている。

そして、宝塔山古墳には5つぐらいのお墓がある。お墓の(図②③)石は、静岡の伊豆から持ってきている。そのお墓があるのが、宝塔山古墳の頂上。

そのことから、古墳(お墓)に入る人を大切にしていることが分かる。

次に、② 宝塔山古墳の石室について調べた。

石室は、前代の愛宕山古墳までの自然石を積み上げる石室の造り方から、きれいに加工された切石を巧みに仕上げる「裁石切組積(きりいしきりくみづみ)」という手法が採用されている。愛宕山古墳の家形石棺同様非常に精巧な造りの石棺で、底面付近には装飾として格狭間が割り(えぐり)込まれている。

更に調べるために、調べた。

石室の石は、漆喰(しっくい)で白い。

石と石の間に小さい石が入っている。また、裁石切組積という手法は図④。

お墓の石を加工するのは、いしやさんという人。石は何十トンもある。

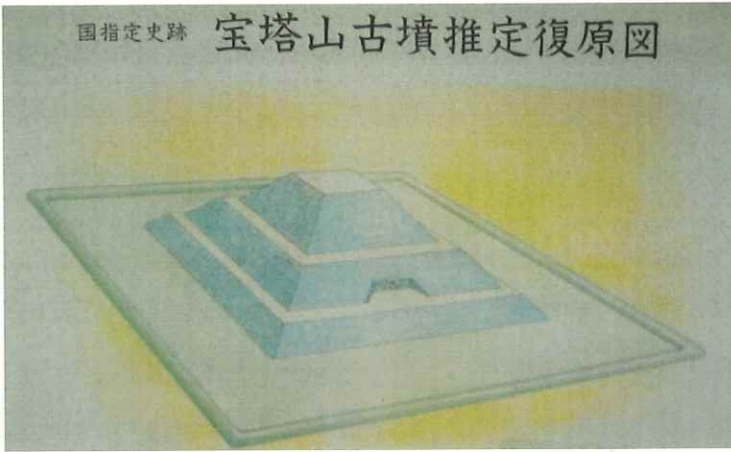
〈石室の写真は、図⑤〉

### ・硬さ

石棺の石	硬い
壁の石	少し柔らかい (図⑥)

そのことから、石を切る道具がない中、人の力で細かい所などをやってすごいと思った。

図①



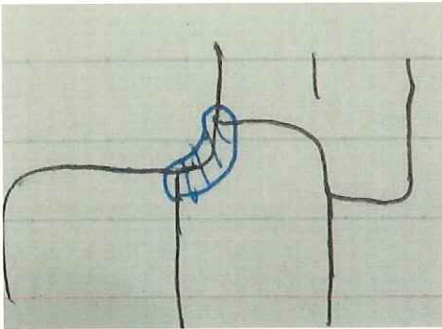
図②



図③



図④



図⑤



図⑥





## 前方後円墳が使われなくなったこと

古墳は700年くらいで大きいのはすごくなくなった。  
つまり、前方後円墳ということだ。

理由は、天皇の下に身分制度『位階制（いかいせい）』が出来て、身分を争う必要がなくなったから。

位階制とは、「華族・勅任官（ちよくにんかん）・奏任官（そうにんかん）・非職の有位者・効績者」のそれぞれの内部序列の基準となるとともに、すべての階層の宮廷での朝班の基準として機能し、「官位勲爵（かんいくんしゃく）」制の官職制・勲等制・爵位制を束ねるものとして、**明治国家のなかに位置付けられた**とされる。

そして、もっと支配を強めたかったのかもしれない。

## 古墳が造られなくなった理由

646年、大化の改新の中の薄葬令によって、巨大古墳を造るのが難しくなり、**古墳が小型で簡単に造れるもの**に変わった。

その後、**仏教が入ってきたこと**によって、**火葬が増える**などして、古墳は造られなくなったと考えられている。

## 4. まとめ

- ・古墳には、色々な形があって構造がある。
- ・現代に流行りがあるように、古墳時代にも流行りがあった。
- ・古墳が前方後円墳が良かったときもあれば、方墳などが良いときもある。
- ・蛇穴山古墳は、堀が深く大切にしていた。
- ・宝塔山古墳は、石室をととてもきれいに作っていて、すごく丁寧に作られていた。

## 5. 感想

- ・古墳の歴史では、わたしが思っても見なかった予想外なこともあり、驚いた。
- ・古墳時代には、権力争いがないと思っていたが、調べたら古墳は権力を示すために造られたと知って驚いた。
- ・私は、古墳にはあまり興味がなく「古墳は石室があって今で言うお墓でしょ」とくらいにしか思っていなかった。しかし、今回調べて、少しは古墳時代のことがわかった。そして、全国屈指の古墳大国の群馬県に住んでいながら知らなかったことが分かり、嬉しく、自分の住んでいるところに誇りを持てた。
- ・調べてみて疑問に思ったことは、「埴輪のこと」である。次に調べるときは埴輪を調べたい。そして、古墳について詳しくなって色々知っている人間になりたい。

## 6. 参考文献

### 〈サイト〉

- ・蛇穴山古墳 観光・体験 前橋の観光・旅行情報サイト「前橋まるごとサイト」  
<https://www.maebashi-cvb.com/spot/1032>
- ・蛇穴山古墳は総社古墳群の基 桜木の下で歴史を伝える県内最後の大型古墳  
<https://we-love.gunma.jp/kanko/iaketsuzan>
- ・宝塔山古墳 観光・体験 前橋の観光・旅行情報サイト「前橋まるごとサイト」  
<https://www.maebashi-cvb.com/spot/1031>
- ・宝塔山古墳 国指定歴史跡にも指定。仏教文化の影響が感じられる群馬県最大級の方墳  
<https://we-love.gunma.jp/kanko/houtouzan>
- ・蛇穴山古墳と宝塔山古墳の素晴らしき石室 群馬B級スポット  
<https://www.b-gunma.com/soujakohun.php>

### 〈資料〉

- ・太田市の古墳
- ・東国の雄 総社古墳群
- ・さあ、出かけよう タイムトラベルへ  
古代群馬の中心地 ここから群馬が始まった 榛名山東南麓の古墳

### 〈ワークショップ〉

- ・群馬県立歴史博物館 特別館長 右島和夫氏主催「こどもセミナー 古墳博士と古墳を歩こう」